

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	理念を地域密着を反映させたものにしていくと共に全職員に地域密着型サービスの意識づけを周知徹底させていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	職員が日々のサービスに反映させれるよう、理念の周知・共有化へ日々、積極的に取り組んでいきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	理念について利用案内時の説明文書等への明示や御家族へ積極的に説明を行い、理念の浸透に努めていきたい。
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	○	周辺のごみ拾い等の地域活動に参加する機会を今後も増やしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価表を全職員で作成することで、サービス向上につながるよう取り組んでいる。	○	毎年度、管理者だけで作成していた外部評価表を、今年度から、全職員の意見も聞いて、取り入れ作成している。全てはなくとも、少しでも、外部評価の意義や日々の業務の見直しに役立っていればと思っている。
6 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議は、実施できていない。	○	現在調整中であり、早急に開催する。
7 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	特別な事例については、市町村担当者と協議し、対応している。また、必要に応じてその都度ご利用者様に関する情報交換を行っている。	○	広報等の配布、外部評価の結果提出・報告など事業所側からの働きかけをもっと積極的に行ってきたい。
8 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	全職員に権利擁護や成年後見人制度の周知徹底は図られていない。御利用者様や御家族から相談があれば、事業について情報提供等の支援を行っている。	○	全職員に権利擁護や成年後見人制度の理解浸透に努めていきたい。
9 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待発見時の対応方法や報告等の流れ等の取り決めはマニュアルを用い、職員には周知している。	○	虐待に関する取り決めや対応方法について全職員に周知徹底していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○	契約時は、理解・同意を得られる丁寧な説明を行っていききたい。
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○	意見・不満・苦情をうまく引き出せる取り組みを引き続き行い、業務改善に反映させていききたい。
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている		
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○	意見・不満・苦情をうまく引き出せる取り組みを引き続き行い、業務改善に反映させていききたい。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○	全職員から意見・提案を引き出せる機会・雰囲気作りに積極的に努めていききたい。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を配慮し、異動や配置換えを行っている。代わる場合は十分な引継ぎを行っている。		
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	委員会による勉強会の定期開催や法人内での研修会参加等の職員教育を行っている。	○	外部研修の積極的な参加、勉強会の内容・やり方などの検討を行っていきたい。
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連の事業所等と定期的な情報交換を行っている。施設間交流も勉強会開催するなど取り組んでいる		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的にコミュニケーション作りに努め、職員のストレスや悩み、体調などを把握するようにしている。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得支援のため研修会参加等を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前には必ず、本人・家族ともに面談の機会を持ち、本人の生活状態や希望・要望などについて理解できるように努めている。		
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、家族が必要としている事を見極めた上で、必要なサービスにつなげるように、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などとの連携をとるようにしている。		
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	面談や見学などを通して、職員の顔や施設の雰囲気分かってもらい、スムーズに利用できるようにしている。また、本人に合った雰囲気のユニットへの入居やショートステイの利用も行い、柔軟に対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護・支援しているのではなく、生活を共にしている、という気持ちで日々過ごしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日常生活の様子を伝え情報の共有を図る中で、家族の様々な思いを受け止め、協力しながら援助していくようにしている。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族に手紙を出してもらったり、気軽に利用者自身が家族に電話をかけることが出来るように対応している。	○	定期的に電話連絡しているが、用件だけ（受診結果や金銭面）で終わってしまうことも多いので、近況報告も常に行えるようにしていきたい。
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に面会が出来るよう到来訪者には説明し、開放的な雰囲気にして、馴染みの人との関係が途切れないように努めている。	○	アセスメントにもっと力を入れていくと共に、個人の希望がより叶えられるような、体制作りをしていきたい。
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士のトラブルもあるが、助け合い・支えあって生活できるように支援している。	○	間に職員が入り、御利用者様同士が積極的に関わり・コミュニケーションが図れる関係作りに努めていきたい。
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も、在宅に戻られた方へは、連絡をとり様子を伺うようにしている。また、家族より相談があった際には、相談に応じ、必要なサービスを利用できるように援助することもある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様・御家族とコミュニケーションを多くとり、思いや意向を聞いている。又、言葉だけでなく、表情や態度等の非言語的部分から思いをくみ取れるように努力している。	○	もっと、アセスメントに力を入れてより深く一人一人の理解に努めていきたい。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に、本人・家族・担当ケアマネなどから情報を聞き取り把握するようにしている。		
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者の日常生活を通して、利用者本人の全体像を把握するように努めている。	○	業務改善に努め、御利用者様本意の生活を支援できるように努力していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員間でのカンファレンスを行い、御家族からも意見や希望を伺いながら介護計画は作成している。		
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	行えている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事・水分摂取量・排泄等の状況や、生活の様子などを個人ごとに記録し、職員が閲覧できるようにし、また、勤務交代時間には申し送りをし、情報の共有化を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や受診は、家族の対応が困難な際には、施設で通院・受診の支援を行っている。また、医療連携体制加算による身体状況の定期的な観察や、短期利用などで必要に応じた柔軟な利用ができるようにしている。	○	御利用者様やご家族の希望があれば、その都度検討し、取り入れていきたいと思っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	イベント以外でも、ボランティアの受け入れはある。また、定期的に消防に依頼し、避難訓練を行ってなっている。	○	
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人からの意向や必要性が生じた際は、必要なサービスが利用出来るように、連携が取れるように支援している。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて、権利擁護の活用や困難事例の相談などで、地域包括支援センターと連携をとっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後も、本人・家族が希望する医療機関に引き続き受診できるようにしている。	○	気軽に医療機関へ相談できる体制は整っていないが、医療連携体制により、訪問看護事業所との連携がとれているので、何かあれば、訪問看護事業所へ相談している。
41	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	市内にある精神科病院を受診時に、日常の対応などで不明な点などについて確認するようにしている。	○	認知症専門又は、認知症に詳しい医師が、ほとんどいないのが現状である。
42	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護事業所と契約し、定期的に健康管理を行っている。また、看護職員を配置し、状態に応じた支援を行えるようにしている。		
43	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合は、頻繁に病院を見舞い、利用者の状態把握や病院側と情報交換をしている。御家族とも、退院後の生活に向け連携をとっている。		
44	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護についての同意書を利用者全員からとり、本人・家族の終末期についての意向の聞き取りを行っている。また、終末期における対応の方針については職員に周知し共有している。	○	重度化や看取りについてのマニュアルを作成中である。
45	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人、家族の意向を尊重し、医療機関、訪問看護と連携しグループホームとしての可能な対応を検討していく。	○	重度化や看取りについてのマニュアルを作成と平行して、自施設独自の、しっかりした対応体制を整えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	当施設での生活状況などの情報を提供し、連携をとりながらスムーズに住み替えが行われるように支援している。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	内部の勉強会を通じて、個人情報や接遇についての対応について徹底するよう指導している。	○	ゆとりある業務を心がけ、常に声かけ・対応には配慮していきたい。
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご家族も交えて、できるだけ御本人に決定して頂ける様、支援はしている。非言語から思いをくみとれるよう努めている。	○	アセスメントによりご本人の嗜好・希望・関心事など、もっと深く把握していきたいと思う
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課は決まっているが、可能な限りにおいて一人ひとりのペース合わせ対応している。	○	業務改善をし、御利用者様一人一人が、その人らしい生活が送れるような支援をしていきたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月1回、床屋の来所があり希望者は利用している。美容室を希望する方は、利用できるように支援している。衣類も月1回、衣料販売店にきて頂いたり、買い物外出行事により、本人の好みのもを購入することができる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	御利用者様各々の苦手な食べ物・禁食に関して、把握・対応できている。又、調理・盛り付け・食事準備・片付け等、一人一人の出来る事を一緒に行って頂き、一緒にテーブルを囲んで、会話をしながら食べている。		
52	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の嗜好品は、可能な限り取り入れている。職員管理のもとではあるが、喫煙にも対応している。		
53	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄や排泄の失敗を減らすよう努めている。	○	プライバシーには、十分配慮してはいるが、時折、トイレの戸を完全に閉めきっていなかったり、排便後の臭いが残っていたりと、配慮に欠けていることも見受けられる。
54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴にあたり、羞恥心や負担感には十分配慮している。曜日や時間は利用者の体調等を考慮している。浴槽に入れない状態の利用者もあり、シャワー浴のみの場合もある。	○	昨年度の外部評価でご指摘頂いた、DSの特浴での入浴を試みたらとの、ご意見頂きましたが、未だ実行に移せないままです。本年度こそは、業務改善し、特浴施行にチャレンジしていきたい。
55	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調、希望等を考慮し、生活のリズムを維持するよう支援している。夕食後はゆっくりとした時間を過ごせるよう配慮している。	○	日中の活動量を増やす事で、眠剤の服用等も減らせられると思われるので、活動量増に努めていきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	菜園や園芸などの活動の場を提供し、本人の好みに合わせて参加できるようにしている。また、日常生活において、利用者本人の得意分野を把握し、個人の能力を発揮できるように支援するよう努めている。	○	家事や体操、軽作業だけの片寄りすぎてる現状であるので、個々の楽しみながら出来ることの把握に努め、支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は、本人・家族からの希望により、施設でお金を必要時以外は預かっている人が大半であるが、施設で預かっている人でも、買い物や外出時などは、自由にお金が使えるように支援している。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩を日課として取り入れている他、行事等で、外出の機会を積極的に取り入れている。希望時には、可能な範囲において、職員付き添いのもと近隣を散歩できるように支援している。	○	全御利用者様を平等に外出支援していきたいが、現状では、困難である。
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参りや、自宅一時帰所など、御家族の協力もあり一緒に出掛けられ機会や支援作りをしている。行ってみたい場所などの希望があった際は、職員間で検討して外出行事の計画に組み入れたり、家族に協力を求めるなどの支援を必要に応じて行っている。	○	ショッピングや他の外出行事にも、御家族が積極的に参加頂けるよう、アピールしていきたい。
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、電話や手紙がだせるように支援を行っている。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪れやすい雰囲気作りと、落ち着いて過ごせる、面会スペースを用意している。	○	④、⑤、に関しては今までご希望がなかったこともあり、現段階では御家族用の宿泊寝具や食事の提供体制は整えられていない。
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルに沿い、身体拘束を行わないように施設として取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りを徹底と、利用者の状態を把握で鍵をかけないように心がけている。		
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、フロア担当の職員が全員の状況を把握するように努めるとともに、夜間は数時間ごとに利用者の様子を確認し、安全に生活ができるように配慮している。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一律になくすことはなく、利用者の状況にあわせた管理、使用をしている。、		
66	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	想定される事故を適時検討している。転倒や窒息、誤薬等の事故防止等の職員間での理解・共有・徹底に取り組んでいる。再発防止のため、事故報告書やヒヤリハット報告書は、所定の場所に保管され、職員が常時閲覧できるようにしている。	○	事故防止等の周知徹底と事故・ヒヤリハット事例を全職員に周知徹底し、事故防止の為の取り組みに努めていきたい。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	入職時、マニュアルに沿い緊急時の対応方法について教育しているが、定期的な訓練については実施していない。	○	救命救急の研修の受講・訓練の定期的開催に努めていきたい。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけを行っている	日中を想定した避難誘導策・訓練が主である。避難訓練は、定期的に行っており、非常食等の準備もしてある。	○	昼夜関係なく想定した避難誘導策・訓練を定期的に行っていく。又、災害時の対応について、近隣住民や警察・消防からの協力が確実に得られるように働きかけを行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	予測できるリスクについては、御家族に説明している。起こり得るリスクについての対応防止策へも随時対応している。 リスクについては家族と話し合い、本人にとって最も良い生活やケア方法について相談しながら対応している。		
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個々の持病・アレルギーに関しては、事前に把握し、毎朝のバイタルチェックにて、毎日の健康状態の把握に努めていると共に、記録やミーティングなどを通して情報の共有化を図り、状態に変化があった場合は、すぐに病院受診する体制ができている。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報は個人カルテごとに、処方箋を整理し、処方内容を確認できるようにしている。また、処方内容変更時は、記録や申し送りなどを通して情報の共有化をし、変化が見られる際は速やかに医療機関などと連携がもてるように努めている。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事のメニューの工夫や、個々に合わせて、飲み物等でも自然排便を促す工夫に努めている。なるべく活動促進や食事・飲料水による自然排便を促している。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	協力歯科医院の訪問や指導を受け、食後は口腔ケアを促し、口腔内の清潔保持を支援している。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の資格をもっている職員がチェックをしているので、栄養バランスに配慮した献立を提供するように心がけている。食事・水分の摂取量は、細かく記録に残している。	○	適正なカロリー管理も行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防防止のマニュアルは作成されている。マニュアルに関しては、適時見直しを図り、変更については勉強会や資料配布等で周知しているとともに、御家族へも情報を流し、感染防止にご協力頂いている。		
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品等の衛生管理に関するマニュアルはないが、調理器具などは随時、職員が消毒を行っている。注意事項の掲示など、常に職員の注意を喚起している。また、生鮮食品などは、買いだめせず毎日仕入れるようにしている。	○	台所用品等の衛生管理に関するマニュアルを作成し、調理器具の消毒日の取り決めが必要と思われる。
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者が家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	GHの玄関へのご案内やセンサーパネルの使用方法的な説明もしている。	○	GH玄関の場所が解りづらいとの声も聞かれるので案内板の設置を考慮していきたい。
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・ホール・廊下などは季節にあった飾りつけを行い、明るく快適に過ごせるように利用者と一緒に飾りつけを行っている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の場に一人で過ごせるスペースや団欒できるスペース、喫煙場所の確保もできている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居にあたって、御家族や御利用者様には、ご自宅で使用していた家具や布団・枕等、馴染みのものの持込を積極的に働きかけている。又、御利用者様が生活していく上で必要と思われる物に関しては、御利用者様と相談しながら、購入している。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気清浄機の設置、定期的な換気をするとともに、室温については利用者の希望にも配慮し、快適に過ごせるように空調を調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子利用者の為の、低床のテーブルや特殊寝台などを取り入れ、生活しやすい環境作りに配慮している。また、利用者からの希望があったものについては、職員間で検討する体制をとっている。	○	高齢の利用者・ADL低下の利用者が多くなってきたので、それに伴った、環境改善を随時検討していく。
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室を間違いやすい易い御利用者様に関しては、案内紙を貼ったり、目印になるようなものをおいて、混乱を防いでいる。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターに花を植えたり、花壇の水やり、草むしり等、利用者の過去の生活歴などを踏まえた活動を提供し楽しみをもった生活ができるよう援助している。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

街中という立地を生かし、社会性を維持していけるよう、毎日の買い物支援や散歩、併設のデイサービスとの合同行事開催などを行っている。退所に関しても、外部と連携を図り円滑に行われるよう支援を行っている。